

家づくりで失敗したくない人の 押さえておきたい3つのポイント



Presented by T-style



はじめに

最近、家造りに失敗する人が増えています。

『思い描いていた家と違う家になってしまった……。』

『余計なお金を〇〇〇万円もかけてしまい返済できない……。』

と、このような話をよく耳にするようになりました。

あなたのご近所でも、新築したばかりなのに不満を漏らしている方、自分の家造りの失敗談を、まるで不幸自慢のようにお話しされている方はおられませんか？

なぜこのような事態が発生するのか？

これらの問題は、ユーザーに正しい知識が無いのと、正しい情報がほとんど届いていないことが原因です。業者は、必要の無い事、これを言うと自分が不利になる事は、ユーザーには話しません。

しかし、これは家造りに携わる者が、また、現場の第一線で働いている人間が、正しい情報を届けなければ、家造りで後悔する人は後を絶たないでしょう。

『よい家に住みたい!』、この思いは万人の願いです。
その思いを叶えるために私はこのガイドブックを書きました。

これからお話しする内容は、営業のプロや建築士が口を閉ざし、
秘密にしていたことです。この話を聞いた後、あなたの家造りに
対する不安は解消されることでしょう。

株式会社 **T-style**
統括部長 高木 宏和

家造りで失敗しない人のマメ知識

家造りに失敗する人、成功する人。結果はどちらかしかありません。家を造るという事は、家族最大の夢であり、人生最大のミッションでもあります。本来楽しいはずの家造りなのですが、『家を建てよ

う！』と決断した時から、さまざまな問題や、困難が立ちはだかります。たとえば…。

- ① どんな家を建てるか。
- ② だれに頼むのか？
- ③ 現実問題として、資金はあるのか？

これらの問題を何とかクリアして、いざ建築が始まると、『手抜き工事をされてはいないだろうか？』、『打ち合わせした内容と違うのでは？』など、こんなはずじゃなかった、と数々の不安が再び頭の中をよぎります。

本当にこの会社に頼んでよかったのか？

もっと安くできたのでは？という思いがたまって、疑心暗鬼になるのです。

また、こんな声もよく聞きます。

契約まではコメツキバッタのようにペコペコしていたのに、契約したとたん営業マンが冷たくなった。手のひらを返したように態度が変わった。一体どういうこと？

そしてある日を境に、夫婦喧嘩が始まり、

『あなたが焦って決めるからよ！』

『お前こそ、営業マンが俳優の〇〇に似ていると喜んでいたじゃ

ないか！』

と、お決まりのコースに突入になります。

あなたはそうなる前に考えてください。なぜ家造りに失敗する人が多いのか、どうしたら家造りに成功するのか、その境界線はどこにあるのか、と。

これからお話しする内容は、あくまで、『**建築費を無駄にせず、いい家を建てたい！**』と願っている方が、必ず参考になるガイドブックです。

しかし、お金に糸目はつけない方や、安かろう悪かろうの家で結構という方には参考になりませんので、今すぐ読むのをおやめください。それこそ、時間の浪費になりますので…。

それでは、早速7つのチェックポイントをお話いたします。